バス出入りへの影響検証について

資料1

【経緯について】

- 路面電車の駅前広場への乗り入れによる周辺交通への影響を把握するための実証実験については、「市役所筋 を北から桃太郎大通りへ左折するためのレーンの設置」、「一般車送迎ゾーンとタクシーゾーンの入れ替え」などを再現する必要があることから実施は困難である。
- 周辺交通への影響の把握については、シミュレーションを実施し、その結果、著しい渋滞は発生しないことを確認した。
- 一方、岡山県バス協会から実証実験の実施を求める陳情が令和元年6月市議会に提出され、採択された。
- このような状況から、採択された陳情の実証実験の実施は困難であるが、陳情の趣旨を踏まえ、出入りへの影響を現地にて確認できる手法を検討することとした。

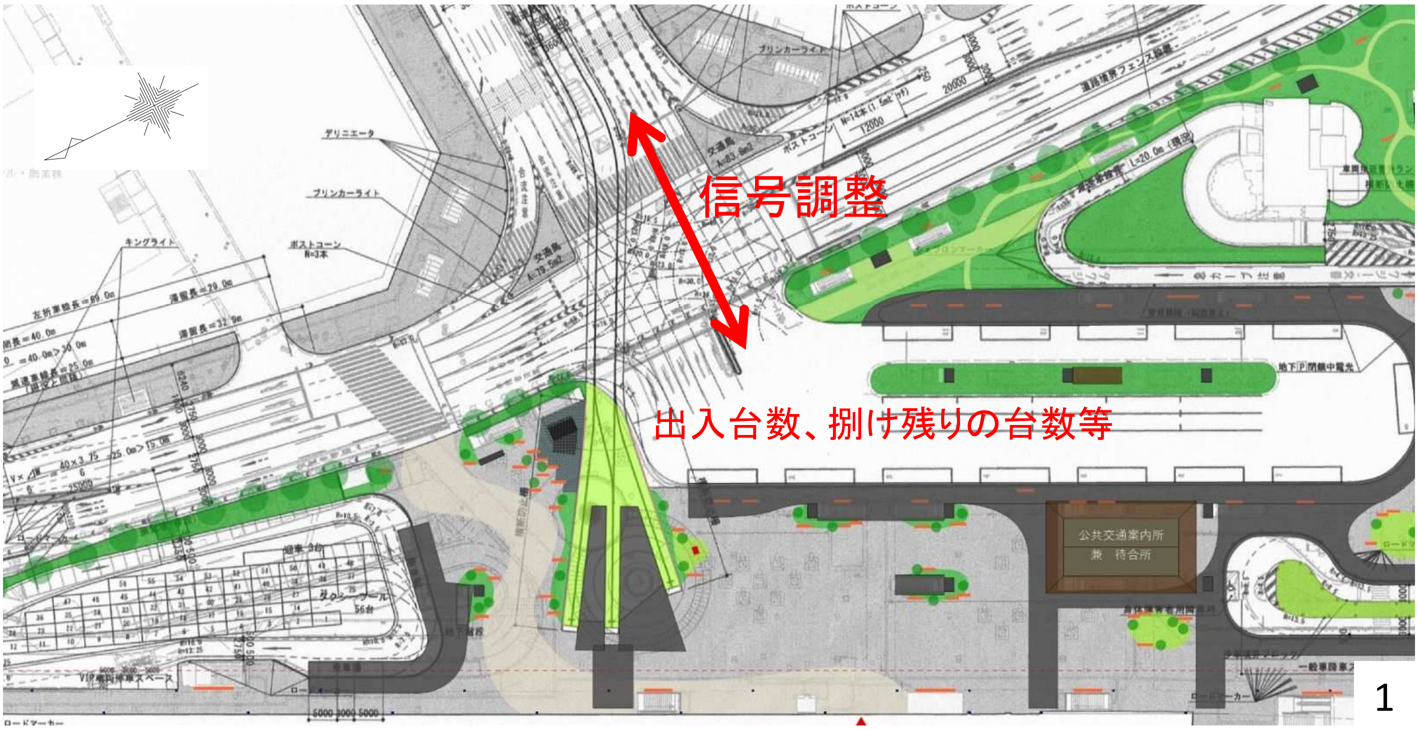
【バス出入りの影響検証について】

路面電車の駅前広場への乗り入れによるバスの出入りへの影響を以下の方法により検証する。

- 駅前交差点を対象に、県警察の協力を得て、東西方向の信号青時間を岡山市が行った交通シミュレーションでの秒数に近づけ、その影響を把握する。

交通量調査内容	バスの出入り台数、捌け残りの有無（台数）など状況を確認
交通量調査予定日	令和2年 1月下旬の日曜日と月曜日の連続する二日間
信号変更	東西方向の青信号を変更(※)

※南北方向については、左折レーン新設などの交差点改良ができないため、信号調整の対象としない。

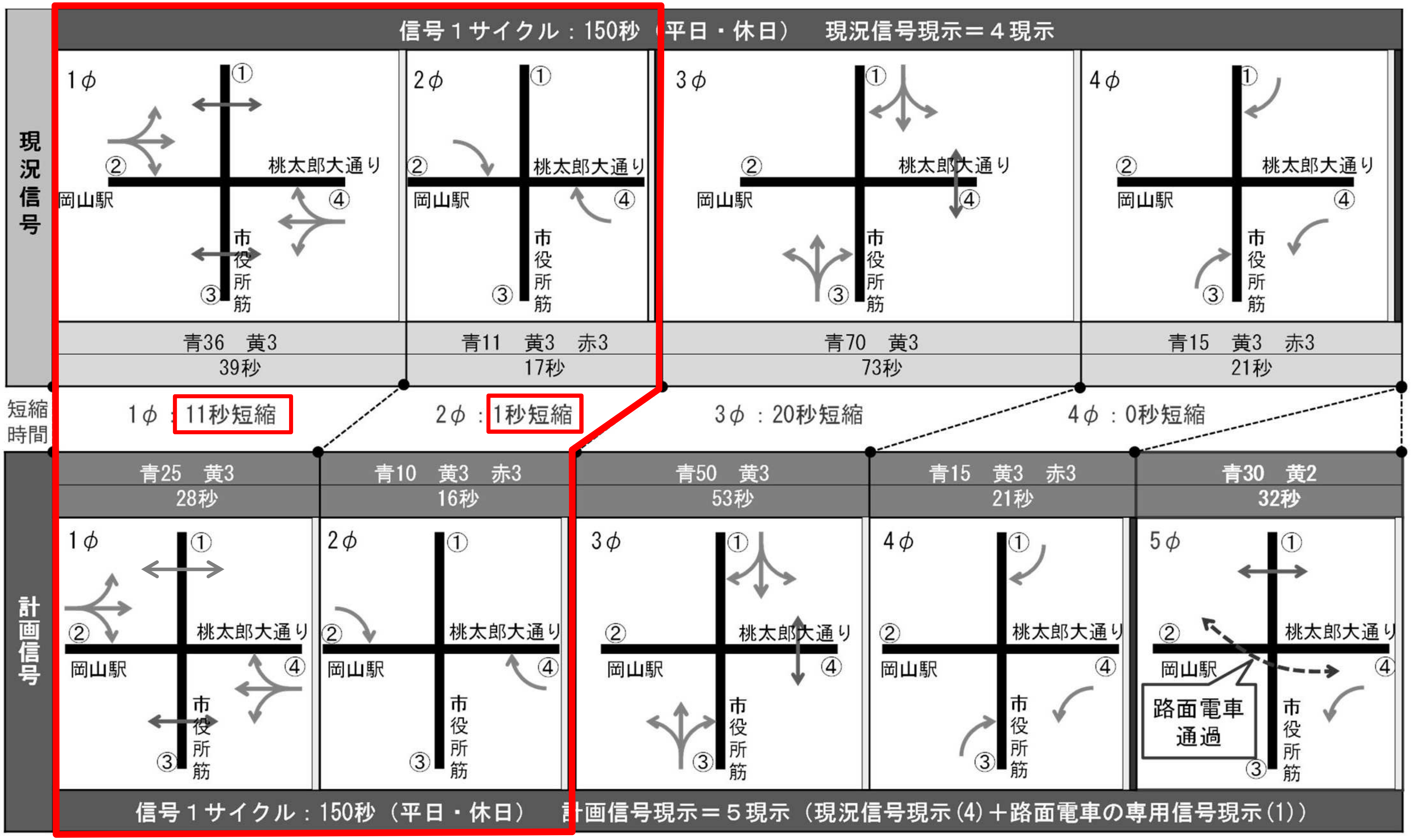


バス出入りへの影響検証について

資料1

＜路面電車乗り入れに伴う駅前交差点の信号パターンの変化＞

H30.2.14 第4回検討会資料抜粋

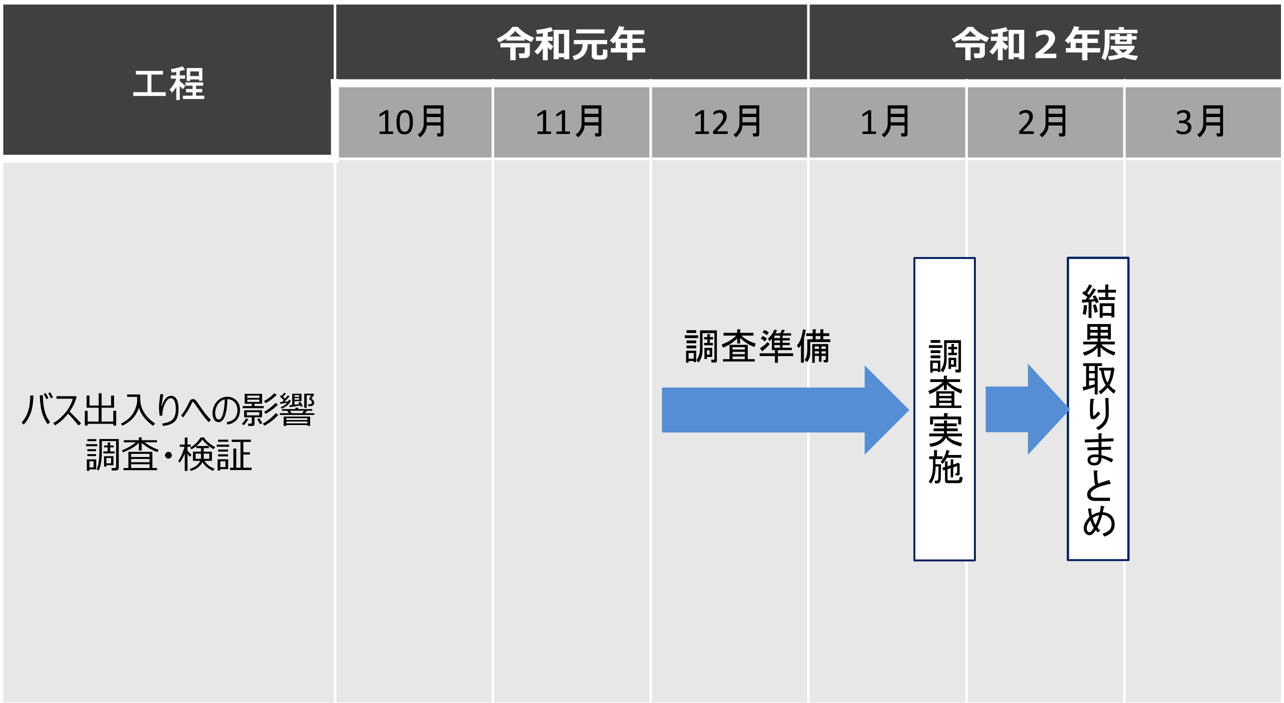
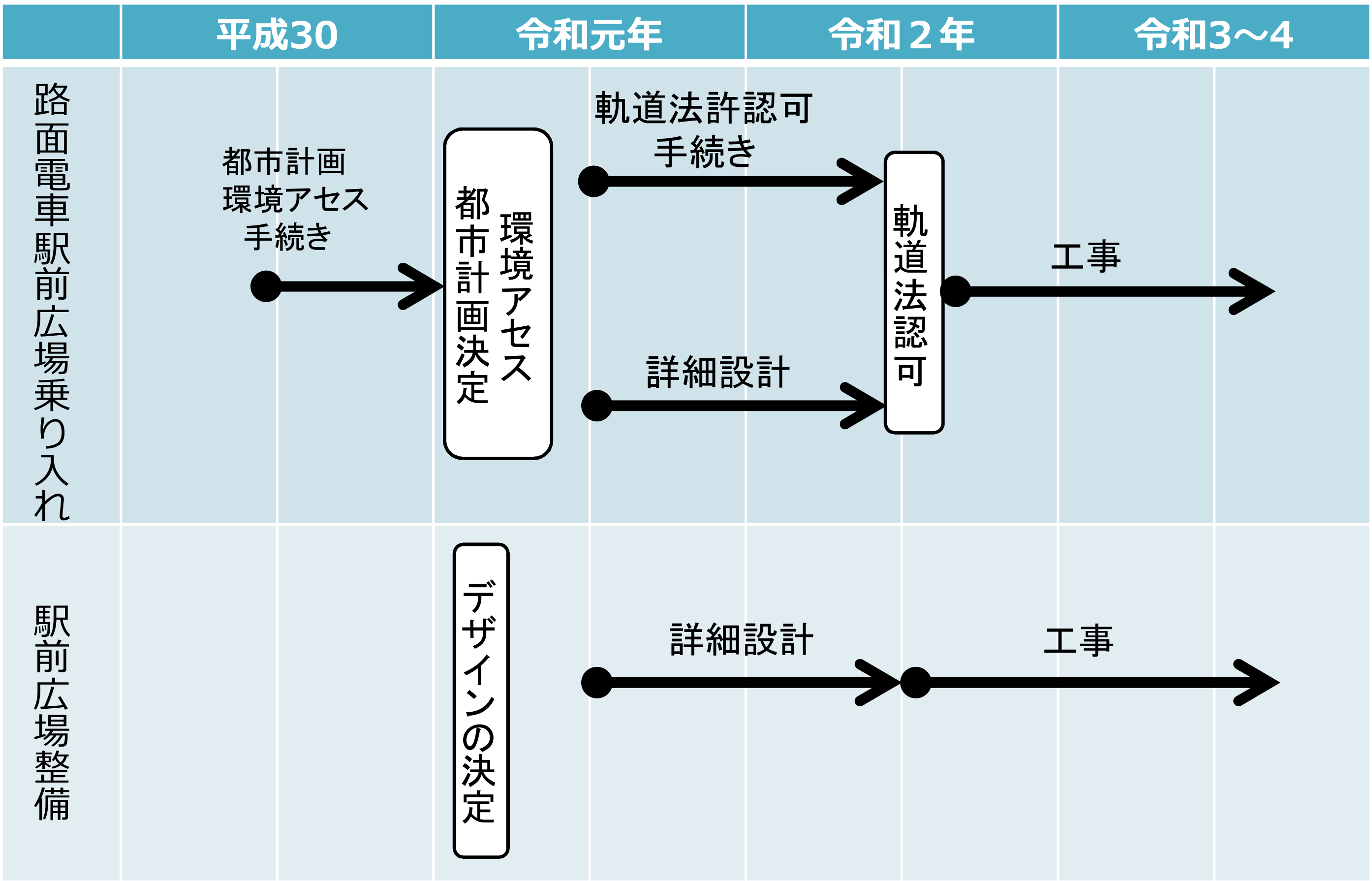


計12秒の短縮

バス出入りへの影響検証について

資料1

調査・検証のスケジュール（案）



全体スケジュール（案）